



🗣️ 地区社協並木会長にインタビュー

感染状況を見ながらできる形で活動の再開を



新型コロナ感染対策のために地区社協のほとんどの事業が休止になっていますが、並木会長にインタビューして、現状とこれからの進め方についてお考えを伺いました。

広報： 地区社協は事務局が動いているものの行事関係は全部止まっていますが、この現状についてどうお感じでしょうか。

会長： 地区社協の行事は人と人のふれあいを目的としているので、感染対策をしながらの実施は実際上不可能です。また市の施設を使うことからの制約もあります。そのため、全ての行事が休止になっており、そのことは仕方のないことと受け止める一方、とても残念に思っています。

広報： これからワクチンの接種が進むにつれて感染状況がよくなっていくことが期待されますが、その中での地区社協の活動についてどうお考えでしょうか。

会長： 感染状況を見ながら活動の再開について検討して行きたいと思っています。再開に際しては感染を広げないやり方を考える必要があります。「ちょっといっぷく」ではどうやるのか、「ふれあい会食会」ではどうやるのか、「おやこタイム」ではどうやるのか、などそれぞれの部会でできこまかく検討する必要があります。その中でやり方が決まれば再開に向けて動くこととなります。福祉フェアについては必要な準備期間が長いことから比較的早期に開催の可否を判断する必要があると思っています。

広報： 地域の福祉ニーズが多様化するにつれて、「子ども食堂など地区社協以外のボランティア団体による活動が増えてきています。地区社協はそれらの団体との関係をどう考えていくのでしょうか。

会長： 新しい福祉ニーズに対応した新しい活動を地区社協で立ち上げようとするのは現実的ではありません。といて、地区社協が地域の会員からの会費で支えられている以上、新しいニーズに無関心であることは正しくないと思います。現状をよく理解した上で、何ができるのか考えたいと思います。現在町会のサロン活動への支援を行っていますが、それが一つのヒントになるかも知れません。

広報： 地区社協の活動で大事にしておられることは何でしょうか。

会長： ボランティアの方々が手ごたえを感じて楽しく活動できることです。地域の人々が互いに支え合って住みよい社会を作っていくという「地域共生社会」の手ごたえが大事だと思っています。

結婚50周年を迎えるご夫婦へのお祝い

松戸市社協では結婚50周年を迎えるご夫婦にお祝いをするにしており、市社協の広報紙で申込みについてお知らせをしています。小金原地区社協では、市社協のお祝いに加えて地区内で祝賀会を行なうことを例年の行事としています。ただし、今年は新型コロナの感染を避けるための方策を検討する必要がありますが、6月の時点では開催の可否を含めて検討が進んでいません。市社協に申し込まれた小金原の方々には、検討結果をお知らせすることにしています。

令和3年度評議員総会は書面表決で開催

小金原地区社会福祉協議会の令和3年度評議員総会は、新型コロナウイルス感染対策のために書面評決によることが理事会で決議されました。前年度活動報告と決算報告、今年度活動計画と予算、規約改正および役員改選の案が全評議員に配布され、これへの賛否と意見を書面で提出するよう求められました。

評議員総数64名中、53名から回答があり、そのすべてが提案に賛成するものでしたので、全ての議案が過半数の賛成で可決されました。

令和3年度の役員と部会長は以下のとおりです。

《 令和3年度役員紹介 》

会 長	並木 幸雄	広報部長	吉田 和男
副 会 長	斎藤 静志	行事部長	市村 廣子
〃	向田 和雄	ボランティア支援部長	外山 泰三
〃	渋谷 寛之(新任)	子育て支援部長	太田 明秀
事務局長	高谷 正一	地域情報部長	柴田 光幸
書記兼会食部長	細谷 暢子	監 事	新井 洋司
会計兼研修講演部長	山本 健治(新任)	〃	加藤 和紘
会計兼高齢者支援部長	服部 幸子		

小金原支所前花壇作りボランティア

小金原地区社協のボランティアグループ「Gなでしこ」の方々が、支所からの依頼で年数回花壇のお世話をしています。

春先の「ネモフィラ」は有名な海浜公園に負けないくらい綺麗でした！支所に来られた時には、お花を見て少しでも癒されませんか？



2021年6月中旬撮影



2021年4月上旬頃

…編集後記…

「ふれあい」の発行は昨年の7月以来で1年ぶりです。地区社協の事業のほとんどが休止になっていたことから今号も2ページの縮小版になりました。各戸への配布が難しい状況ですが、それぞれの町会の事情に合わせて扱っていただければと思っています。

部長 吉田 和男